

第3回郡上市薪ストーブ普及・推進協議会会議（要録）

日時 平成22年9月17日（金） 19時00分～20時50分  
場所 郡上市役所本庁舎2階 第1会議室  
出席 委員12名、事務局7名 計19名（委員欠席者1名）

<内 容>

（事務局）会議開催あいさつ

会長 あいさつ

1. 事務局より報告事項について順次説明

報告事項1	地域座談会報告	・・・	資料1
報告事項2	薪について	・・・	資料2
報告事項3	薪ストーブについて	・・・	資料3
報告事項4	薪ストーブと火災・法令関係について	・・・	資料4
報告事項5	薪ストーブ普及台数について	・・・	資料5

2. 議事

協議事項1	薪の市場調査結果から薪の供給体制の検討	・・・	資料6
協議事項2	薪ストーブ普及・推進の具体的方法の検討	・・・	資料7

3. 連絡事項

4. 閉会

<会議発言要旨>

【 薪ストーブ普及の方法 】

- ・二次燃焼による CO2 排出削減効果について周知を図れば、薪ストーブ導入の意義付けになるのではないかと。
- ・間伐して山が健康になり、残った木が太って二酸化炭素がこれだけ削減できたと言うといいのでは。
- ・山に人が入ることを考えて欲しい。間伐材の利用に向けて薪ストーブの普及を進めて欲しい。
- ・郡上に住む人で、スギ・ヒノキを燃やしても大丈夫と思う人を増やすことが大事だ。
- ・山仕事をしている人で、少しだけでも材を出せる人がいると思う。始めから商売にしないではなく、儲けの出ないやり方と商売にする事を考えたやり方とを考えてもいいのではないかと。

- ・薪ストーブの良い面を宣伝して、使っていない人にやってみようと思わせることが大切。環境的にも良いと分かっている人の背中を押すようなことが考えられたら。
- ・高齢者がやってみようかと思えるようなPRや、山を持っている人が自分たちでもできると思わせるようなTV番組ができればいい。広報で継続して周知すると良い。

#### 【 普及の課題 】

- ・薪ストーブは薪の調達から実際に使うことも手間がかかる。石油ストーブのように簡単に使えない。
- ・薪ストーブに補助が出るようになれば、間伐材だけでは材が足りなくなると思う。皆さんは自分で材が伐れるが、若い人は自分では伐れない。自分は1年でストーブを止めた。仕事が大工なので端材を燃やしたがそれだけでは足らなかった。それに面倒だった。自分で調達できなければ業者に頼るしかない。
- ・薪を自分で確保できない人も多い。薪を作るには時間的にも余裕が要る。

#### 【 薪ストーブ普及の効果について 】

- ・郡上の薪を使うことで灯油代が郡上から出ていなくなり、市内で経済が循環する。
- ・森林づくりのために山に人が入り、薪を使うことで間伐など山の手入れができる。
- ・石油が減らせることから、二酸化炭素排出量の削減につながる。
- ・他所から薪を求めてくる人が増えて、交流人口や野菜などを求める人も増えると良い。
- ・人が山へ入ることで獣害対策にもなる。

#### 【 伐採と再造林について 】

- ・カーボンニュートラルだから燃やしても二酸化炭素が排出されていないわけではない。伐採後、再造林することでカーボンニュートラルになると思う。
- ・現在、皆伐はほとんど行われていないし、薪のために伐採するのではなく、切捨てた間伐材を薪に利用している。
- ・保安林は植栽が義務になっているが、普通林は植えることを前提に伐採届を出してもらうだけで本当に植えているかは疑問。だが、郡上では皆伐はわずかな量である。

#### 【 間伐について 】

- ・間伐をすると、その分残った木が大きくなりCO2の蓄積が促されることになる。
- ・郡上では年間約3,000haが間伐されているが、ほとんどが切捨て間伐でこの材の有効利用が求められている。
- ・間伐は補助金があり負担金なしでできる。お金がかかるなら誰もやらない。
- ・間伐材の提供について、森林組合に協力してもらえないか。
- ・今は個人情報を守ることも大事なので、慎重に行って欲しい。所有者と当事者が直接

話し合ったほうがいいのではないか。

- ・間伐が目的ではなく切捨てられている間伐材を利用しようということが理念にある。
- ・間伐した木を薪にして活かすといったら良い。

#### 【 薪について 】

- ・郡上で薪ストーブを広めるなら、スギなどを燃やしたほうがいいのではないか。
- ・薪には新しく伐るものでなく、切り捨てられた材を使うと良い。
- ・大きな木を薪にするために伐ることはない。
- ・薪ストーブを普及させるのは針葉樹を活用するのが目的ではないか。切捨ての針葉樹を利用する事を考えている人が郡上では多い。広葉樹を目的にしても参考になるのか疑問。

#### 【 広葉樹について 】

- ・広葉樹は伐採しても萌芽して育つ。今問題になっているナラ枯れも、古い木を伐らな  
いからと聞いた。日本は気候的にも木が育ち易いため、計画的に伐って使ったほうが  
良いのではないか。

#### 【 民間の活動支援について 】

- ・会で市の所有地を借りて、原木の仕入れ、販売の活動を予定している。こうした活動  
に対し、協議会として支援ができないか検討して頂きたい。
- ・供給体制を業者に任せるのではなく、ボランティア団体が行うことも大事ではないか。
- ・市が補助（軽トラ1,000円など）することも方策としてあるのでは。

#### 【 補助金制度について 】

- ・補助については、期間限定でも必要だと思う。
- ・補助金は、期限を切っておくこと。いつまでも出さない。
- ・薪ストーブを購入するきっかけとしては、本体への補助がいいと思う。
- ・環境も考えて一次燃焼と二次燃焼を分けて考えることも必要ではないか。
- ・環境問題は大事なこと。
- ・補助があれば買い換えたいとの話もある。本体に補助して普及を図って欲しい。
- ・郡上にはペレット工場がないので、他所から持ってきたペレットに補助は難しい。
- ・環境を考えると薪ストーブなどに補助するのがいいのではないか。循環型社会を作るた  
め補助してはどうか。間伐などは効果としてついて来るもの。
- ・普及するためには1台5万円位の補助を、5年間（1年100台）期間限定としては  
どうか。
- ・安いストーブに5万円は多すぎるということならば、30万円以上のものにするなど

がいいのでは。

- ・薪ストーブ設置に掛かった費用の3分の1以内で5万円を限度としてはどうか。
- ・軽トラ1車に1,000円でも市などが補助している所もある。こうした事を普及させるのが大事。

【 その他 】

- ・山に入る人が増えるよう、山仕事入門講座を行ってはどうか。
- ・山仕事は求人すると応募が多い。山仕事がブームになっている。
- ・薪を調達するため、自分の山を手入れするのは効果があるが、ストーブを目的に間伐するのは違うと思う。合わないから材を出さないのであって、間伐の事ではなく、ストーブの話として山の手入れもできる効果があるということでもいいのではないか。

## 【 意見まとめ 】

### 普及の方法

- ・ 二次燃焼や間伐による CO<sub>2</sub> 削減効果について周知を図ると良いのでは。
- ・ スギ、ヒノキの使えることを PR したら。
- ・ 薪ストーブが環境的にも良いことや、高齢者や山を持っている人がやってみようと思えるような広報をすると良い。
- ・ 薪を目的に間伐するのではなく、切捨ての針葉樹間伐材を利用すると良い。
- ・ 民間で活動する団体に支援も必要では。
- ・ 山仕事入門講座を行えば。

### 普及の課題

- ・ 薪ストーブは薪の調達から取り扱いまで手間がかかる。
- ・ 薪の確保が大変。

### 普及の効果

- ・ 山に人が入るようになり、手入れがすすむ。
- ・ 市内で経済が循環する。
- ・ 化石燃料の使用量が減ることで、二酸化炭素排出量が削減される。
- ・ 獣害対策になる。

### 補助金制度

- ・ 期間限定でも設けることが必要。
- ・ 環境面を考えながら、本体への補助をすることが良いのでは。
- ・ 薪ストーブへの補助を考えるなら、環境を考えながら循環型社会をつくるため補助したらどうか。間伐はその効果としてついてくるもの。
- ・ 軽トラ 1 車に 1000 円などの補助をしたらどうか。
- ・ ストーブ本体に 1 台 5 万円、5 年間(1 年 100 台)の期間限定としたら。
- ・ ストーブ本体が 1 台 30 万円以上するものにだけの助成でも良いのでは。
- ・ 設置に掛かった費用の 3 分の 1 以内で 5 万円を限度としては。